学校番号	３０２０

令和８年度　地理歴史・公民科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新歴史総合　過去との対話、つなぐ未来」（第一学習社）						
副教材等	「新版　ダイアローグ歴史総合」（第一学習社） 「改訂版　学習事項の整理と作業　新歴史総合ノート」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まずは日々の授業を大事にしてください。教科書に出てくる用語や事件の歴史的な意義など、基本的な事柄を理解し、覚えるべきことは覚えてもらうことも大事です。一方で、なぜそのような歴史的事象が起こったのか、あるいはそれがどのような影響を今日の世界にもたらしているのか、考えていく過程を評価に際して重視します。そのためには、現代の日本や世界で起こっている事件や現代社会が抱える課題などもみていくことが大事です。国際的な視野を持ち、普段から新聞やニュースなど報道に触れてください。文章・レポートを書いてもらうことも多いです。主体的に学ぶ態度をもって、この強化に取り組んでもらいたいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
近代以降の日本と世界の歴史的な発展やかかわりについて、基礎基本となる概念とともに正しく理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史に関わる事象について、学習を通じて獲得した概念などを活用して資料などを適切に用いて多面的・多角的に考察することができる。また、自分の考察を他者に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
一連の学習を通じて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家の形成者として今日の日本及び国際社会の諸問題について、主体的に追究・解決しようとする姿勢が見られる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近代以降の日本と世界の歴史的な発展やかかわりについて、基礎基本となる概念とともに正しく理解している。紙に現れる史料だけでなく、ネットなどの情報システムも用いて、さまざまな情報を適切かつ効果的に処理し、整理する技能を身につけている。	歴史に関わる事象について、その意義を、政治・経済・民族・宗教などの相互の関連に着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。また、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。歴史的な見方をもって、今日の日本及び国際社会の諸問題について、主体的に追究・解決しようとする姿勢が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近代化と私たち	1章　近代化と私たち 第1節　18世紀のアジアの繁栄 第2節　工業化の進展と国民国家の建設 第3節　アジア諸国の変貌と日本の開国 第4節　帝国主義の発展	a 18世紀のアジアの諸帝国の概要について理解する。日本を含むアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 a　産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国によって東アジア地域が世界市場に組み込まれた経緯を理解し、１９世紀以降、工業化と世界市場の形成がいかに進んだかを理解する。 a 18世紀後半以降の欧米の市民革命を理解する。日本の明治維新に始まる近代化との関連を学習する。 a　列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 b 18世紀のアジア諸国と欧米諸国の関係に着目して主題を設定し、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的･多角的に考察し、表現する。 b 19世紀後半の西洋の衝撃以降におこったアジア諸国の体制の動揺や対応を比較検討し、アジア諸国の変化や欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 b　国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国の政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 b 19世紀後半以降本格化した帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 c　諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む	定期テスト ワーク 小テスト	定期テスト レポート課題 学習の振り返り	 ノート レポート課題 学習の振り返り

2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第2章　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節　第一次世界大戦と大衆社会 第2節　経済危機と第二次世界大戦 第3節　第二次世界大戦の世界と日本	a 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化など、20 世紀諸前半におこった歴史的な変化を理解する。 a 第一次世界大戦の展開と総力戦がもたらした社会の変化、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、民族自決の動きや国際連盟の成立などを基に、第一次世界大戦後に生まれた国際協調体制を理解する。 a 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 b 第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響を、日本の同時代の社会の変化や大正デモクラシーの動向と関連付けて考え、多面的・多角的に考察し、表現する。 a 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 a 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 b 世界恐慌の背景とその影響、ファシズムの台頭などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較検討し、第二次世界大戦前夜の世界について多面的・多角的に考察し、表現する。 b 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較検討し、第二次世界大戦の性格と惨禍、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 c 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む	定期考査 ワーク 小テスト	定期考査 レポート課題 学習の振り返り	 ノート レポート課題 学習の振り返り

3	グローバル化と私たち	第 3 章 グローバル化と私たち 第 1 節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 第 2 節 世界秩序の変容と日本	a 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。 a 西ヨーロッパの復興や日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と日本の社会に及ぼした影響について理解する。 b グローバル化に伴う生活や社会の変容について、関連する資料読解・資料分析などを通じて考察する。 b 冷戦下における地域紛争の背景、第三世界の台頭、欧米やソヴィエト連邦の政策転換、ヨーロッパや東南アジアの地域連携、日本の高度経済成長の背景と影響などについて、資料分析や資料読解を通じて多面的・多角的に考察し、表現する。 a 冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 b 冷戦末期の国際政治の展開、アジアの諸地域の経済発展、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 b 冷戦終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 c 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 ワーク 小テスト	定期考査 レポート課題 学習の振り返り	 ノート レポート課題 学習の振り返り

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度